

# 名誉会員 和田 弘博士を偲ぶ

相磯 秀夫

本会名誉会員／東京工科大学

本会名誉会員和田弘博士が去る2月8日に92歳の天寿を全うされました。

和田さんは1914年11月の生まれで、1938年東京帝国大学をご卒業後、直ちに通信省電気試験所第3部（強電部門）に研究員として入省されました。1939年に海軍技術将校として軍務に服されましたが、終戦直後に電気試験所に復職し、電力関係の研究を行いました。

和田さんは1951年から1年間MITに留学をされましたが、その間の体験を通して、電子技術が従来の通信だけでなく、あらゆる産業分野に応用できる重要な基幹技術であることを痛感し、帰国後は行政機関や産業界はもとより学術研究の分野においてもその重要性を訴え続けました。電気試験所では1954年に電子部を創設されましたが、それ以来、一貫して最先端の電子技術の研究開発を指導され、卓越した業績を遺されました。

電子部における和田さんの最大の研究成果は、何と言っても世界に先駆けて真空管を1本も使わない全トランジスタ計算機の開発を指導し、1956年にETL Mark III、続いて1957年にETL Mark IVを完成させ、いち早く国産トランジスタ計算機が実用になり得ることを世に示されたことです。“電気試験所戦後最大の研究成果”とも言われました。

和田さんは昨年12月7日に逝去された親友喜安善市博士と“電気試験所はトランジスタ計算機、電電公社通信研究所はパラメロン計算機の研究開発を行い、ともに計算機の国産化に貢献しよう”と約束したという逸話が語り継がれています。特に和田さんは、ETL Mark IVの研究成果を計算機の国産化に意欲的な企業に対して技術指導することを考え、国産商用計算機開発の手助けを積極的に行いました。結果的には、我が国の計算機産業の立ち上げに大きな貢献をされました。また、計算機の国産化と産業の活性化促進のために、種々の法案の策定や振興策の作成に辣腕を発揮されました。“和田さんなくして、今日の情報産業はない”と言わし

めた所以をそこに見ることができます。

和田さんの研究活動は計算機開発だけではありません。計算機による英文和訳や英文字の読み取りの研究も手掛けられました。それらの成果は後の機械翻訳や文字認識の研究に重要な課題を提供しました。また、情報技術の標準化にも早くから関心を示され、ISOやIECなどによる国際標準化にも日本を代表して指導的な活動をされました。さらに和田さんは未来社会における情報技術の重要性を見据えて、1960年に設立された情報処理国際連合（IFIP）に対応する情報処理学会を故山下英男博士とともに設立され、学術の面でも適切な貢献をされました。

和田さんは1964年に電気試験所を去り、成蹊大学に移籍されました。大学では情報技術の実践的な教育を心掛けたと本人も言っておりましたが、多くの有能な研究者や技術者を育てられたことも事実です。また、実学の社会還元の間として自ら会社を設立され、産学連携の促進にも努められました。このように和田さんは計算機と情報処理技術に関して、新技術の研究開発、行政および産業界への支援、学会活動、工業標準化等の多くの分野で類稀な事績を挙げられました。

電気試験所時代を思い浮かべると、和田さんは先見性に長け、着想力が豊かで、卓越した実行力を持ち、それでいて若手の面倒をよく見る研究リーダーでした。性格は豪放磊落、どんな状況の下でも自分の考えをはっきりと述べ、所信を貫く強い意志を持ったきわめて有能な行政官でもあったように思います。私生活においては、質素・清潔・厳正・剛健を旨としていたとご家族からお聞きしております。

“和田さんのような素晴らしいリーダーは、これからはもう出てこないだろう”と和田さんの逝去を惜しみ、寂しい思いをしている人も少なくありません。在りし日の和田さんのお姿を偲びつつ心からご冥福をお祈りいたします。

（平成19年3月14日）



## 御 略 歴

1914年11月10日 広島県生まれ  
1938年3月 東京帝国大学工学部電気工学科卒業  
1938年4月 逓信省電気試験所第3部研究員  
1939年5月 海軍造兵中尉  
1945年10月 海軍技術少佐で電気試験所に復員  
1951年10月 工学博士（東京大学）取得  
1951年10月 米国マサチューセッツ工科大学に留学  
1953年9月 電気試験所企画課長  
1954年7月 電気試験所電子部長  
1954年7月 日本工業標準調査会委員  
1955年5月 電気学会評議員  
1958年3月 日本電子工業振興協会設立・顧問  
1958年5月 電気学会編集理事  
1962年4月 電気試験所電子計算機部長  
1964年7月 電気試験所辞職・成蹊大学工学部教授  
1965年4月 成蹊大学工学部経営学科主任  
1966年10月 日本ソフトウェア株式会社非常勤取締役  
1969年8月 日本工業標準調査会情報部会長  
1975年3月 日本工業標準調査会 ISO/TC 97 専門委員会委員長  
1975年5月 日本アルゴリズム株式会社取締役  
1979年6月 日本アルゴリズム株式会社代表取締役  
1980年3月 成蹊大学定年退職・成蹊大学名誉教授  
1993年6月 日本アルゴリズム株式会社相談役  
2007年2月8日 逝去（92歳）

1960年4月～1964年5月 情報処理学会設立・理事  
1962年1月～1963年12月 IEC/ISO 国内委員会幹事  
1963年12月～1970年1月 情報処理学会規格委員会幹事  
1965年5月～1967年4月 情報処理学会副会長  
1970年1月～1986年9月 情報処理学会規格委員会委員長  
1980年5月 情報処理学会名誉会員  
1985年5月 情報処理学会特別功績賞  
1986年9月～1988年2月 情報規格調査会会長  
1988年2月～ 情報規格調査会名誉会長

### 受賞・栄誉

1968年11月 通商産業大臣賞  
1975年10月 通商産業大臣個人賞  
1976年10月 通商産業大臣個人賞  
1985年11月 C&C 賞  
1987年11月 勲3等瑞宝章